

■殺虫剤：農業用

ピリジンカルボキサミド系

ウララ[®]DF

登録番号：21812

毒性：－

消防法：－

有効年限：5年

成分 フロニカミド……10.0%

物理的・化学的性状 淡褐色水和性細粒

包装：250g×20 500g×20

◆特長

- 既存剤と異なる作用性を持つ新規系統の殺虫剤です。
- アブラムシ類やコナジラミ類などの半翅目害虫に高い効果を示します。
- 高い吸汁阻害効果を示したのち衰弱・死亡させるユニークな作用を示します（見かけ上遅効的です）。
- 浸透移行性が高く、茎葉内で適度な安定性を保つため長期残効性、耐雨性に優れています。
- 天敵昆虫や有用生物に対する影響はほとんどないのでIPM防除にも適しています。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フロニカミドを含む 農業の総使用回数
りんご	リンゴワタムシ	2.000倍	200～700ℓ / 10a	収穫14日前まで	2回 以内	散布	2回以内
	アブラムシ類	2.000～ 4.000倍					
なし	チャノキイロアザミウマ	2.000倍					
もも	アブラムシ類	2.000～ 4.000倍		収穫7日前まで			
ネクタリン 小粒核果類		2.000～ 4.000倍		開花前まで			
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	1.000倍		60～150ℓ / 10a			
おうとう	チャノキイロアザミウマ コアオカスミカメ	2.000倍	収穫前日まで				
小麦	アブラムシ類	4.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回 以内	3回以内	
いちご		2.000～ 4.000倍					
	コナジラミ類	2.000倍					
きゅうり	アブラムシ類	2.000～ 4.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回 以内	3回以内	
	コナジラミ類	2.000倍					
なす トマト ミニトマト	アブラムシ類	2.000～ 4.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回 以内	3回以内	
	コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ	2.000倍					
ピーマン すいか	アブラムシ類	2.000～ 4.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	2回 以内	2回以内	

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フロニカミドを含む 農業の総使用回数
アスパラガス	アブラムシ類 ネギアザミウマ	2.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	3回以内
レタス	アブラムシ類			収穫3日前まで			
非結球レタス		2.000～ 4.000倍		収穫前日まで			
メロン	コナジラミ類	2.000倍					
ばれいしょ	アブラムシ類	2.000～ 4.000倍	25ℓ /10a		2回 以内		2回以内
		500倍					
		1.000倍					
さといも やまのいも やまのいも (むかご)	アブラムシ類	2.000倍		収穫7日前まで			
えだまめ いんげんまめ だいず あずき	2.000～ 4.000倍						
たまねぎ	2.000倍						
ねぎ	ネギアザミウマ	1.000～ 2.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	3回 以内	3回以内	
くわい	アブラムシ類	2.000倍		収穫21日前まで			
非結球あぶらな科 葉菜類	アブラムシ類	4.000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日まで	2回 以内	2回以内	
すいぜんじな		2.000～ 3.000倍		収穫7日前まで			
キャベツ はくさい ブロッコリー		2.000倍		収穫前日まで			
だいこん		2.000倍		収穫14日前まで			
カリフラワー		2.000～ 4.000倍		収穫7日前まで			
ごぼう		2.000～ 4.000倍		収穫3日前まで			
みつば		4.000倍		但し、伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで			
しそ		4.000倍		収穫3日前まで			
食用ぎく		4.000倍		収穫7日前まで			
きく(葉)		4.000倍		収穫14日前まで			
おかひじき	4.000倍	収穫3日前まで					
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ ツマグロアオカスミカメ	1.000～ 2.000倍	200～400ℓ / 10a	摘採7日前まで	1回	1回	
	コミカンアブラムシ	2.000倍					

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1)使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ること。散布器具、容器の洗浄水等は河川等に流さないこと。周囲に影響のない方法で処理を行ない、空容器（空ビン）は環境に影響のないよう適切に処理すること。
- (2)使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- (3)本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (4)きゅうりに使用する場合、徒長したものでは散布時展開葉の葉縁に薬害を生じることがあるが、その後の展開葉および生育には影響はない。
- (5)非結球あびらな科葉菜類に使用する場合、低温多湿等の薬液が乾燥しにくい条件下では薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (6)すももでは品種により、葉に薬害が生じる場合があるので注意する。
- (7)ばれいしょに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- (8)つまみ菜、間引き菜には使用しないこと。
- (9)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。

◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。